

「西脇順三郎賞」選考委員

	氏 名	
委員長	野村喜和夫	詩人。早稲田大学卒業。明治大学大学院博士課程中退。日本ペンクラブ会員。2000年『風の配分』で高見順賞受賞。2012年鮎川信夫賞受賞。2020年『薄明のサウタージ』で第38回現代詩人賞を受賞。ほか詩集、評論・エッセイ等多数出版。
委員	朝 吹 亮 二	詩人。フランス文学者。慶應義塾大学大学院博士課程単位取得退学。慶應義塾大学法学部名誉教授。1987年詩集『opus』で第25回藤村記念歷程賞。2011年詩集『まばゆいばかりの』で第2回鮎川信夫賞受賞。ほかに詩集『ホロウボディ』、論文集『アンドレ・ブルトンの詩的世界』等。
委員	阿部日奈子	詩人。詩集に『典雅ないきどおり』(1994年)、『海曜日の女たち』(2001年)、『素晴らしい低空飛行』(2019年、いずれも書肆山田)、書評集に『野の書物』(2022年、インスクリプト)、訳書にダニエル・シュミット『楽園創造書割スイス文化史』(2009年、平凡社)など多数あり。
委員	加 藤 孝 男	歌人。中京大学大学院博士課程満期退学。東海学園大学教授。博士(文学)。1988年『言葉の権力への挑戦』で現代短歌評論賞受賞。2021年『与謝野晶子をつくった男』で日本歌人クラブ評論賞受賞。2017年『詩人 西脇順三郎—その生涯と作品—』(共著)、ほか歌集・評論など多数あり。
委員	杉本真維子	詩人。学習院大学文学部哲学科卒業。幼少期から詩を書き始める。2002年第40回現代詩手帖賞受賞。2008年『袖口の動物』で第58回H氏賞受賞。2015年『裾花』で第45回高見順賞受賞。2023年『皆神山』で第31回萩原朔太郎賞受賞。

(令和7年6月現在)